

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

長野県 岡谷市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>2</sup> 当たり家庭料金(円)
-	63.93	99.69	68.19	3,278

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
47,038	85.10	552.74
46,655	14.59	3,197.74

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】令和5年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率は、人口減少に伴い使用料収入が減少し続けていますが100%を超えており、適正な使用料水準で健全経営を維持しています。
- 累積欠損金はありません。
- 流動比率は100%以上を維持しており、1年以内の負債を賄えるだけの支払能力は確保されています。
- 企業債残高対事業規模比率は、早期から更新投資を進めたことにより高い傾向にあります。近年では減少傾向となっており、適切な投資規模であると考えられます。
- 経費回収率は100%で、全国平均や類似団体と比較しても高い水準であり、良好な状況となっています。
- 汚水処理原価は、諏訪湖流域下水道で処理場を運営しているため、本市単独での運営に比べ効率的であり、健全経営につながっています。今後、老朽化施設を更新するための経費の増加が見込まれます。
- 諏訪湖流域下水道に接続しているため、該当がありません。
- 水洗化率は全国平均や類似団体より高い水準です。引き続き、費用対効果を検証しながら向上に取り組みます。

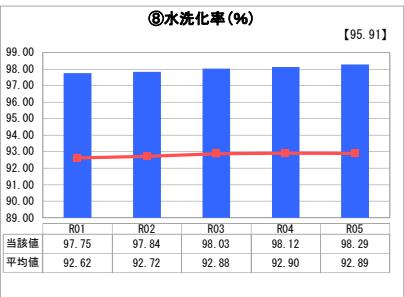
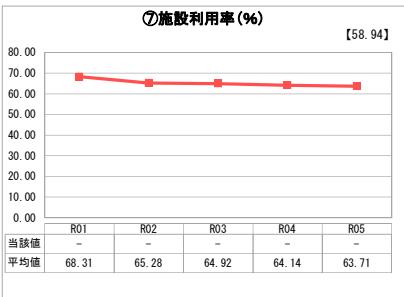
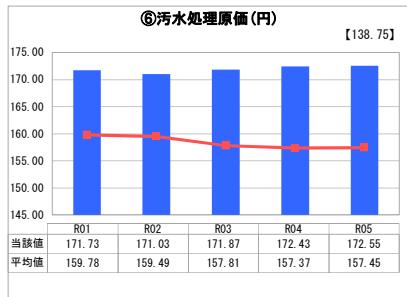
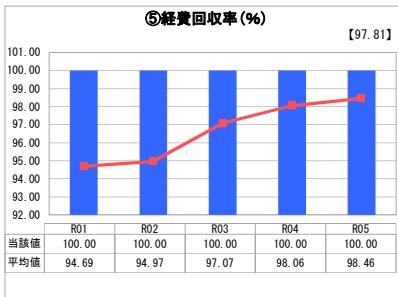
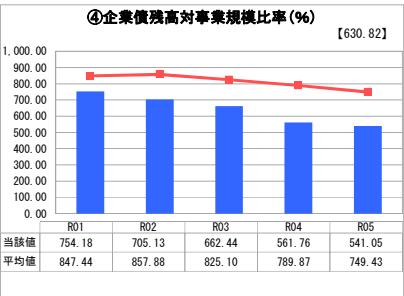
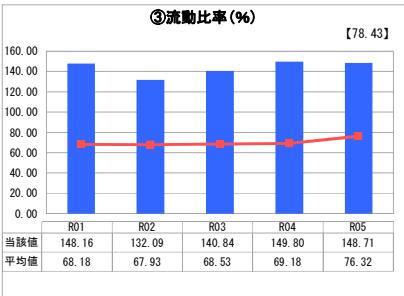
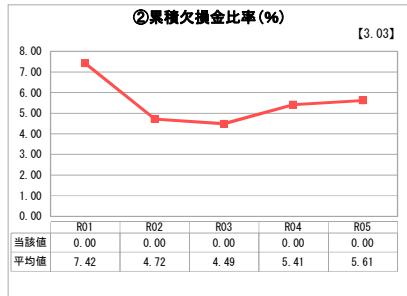
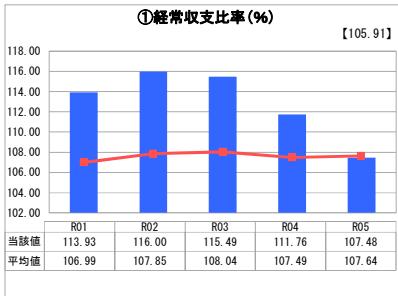
### 2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率は全国平均や類似団体平均を上回っていることから、資産の老朽化度合が進んでいるといえます。
- 管渠老朽化率は、現在のところ耐用年数を超えた管渠はありませんが、有形固定資産減価償却率が高いことを考慮すると、今後、急激な増加が見込まれます。
- 管渠改善率は、早くから長寿命化対策や耐震化対策に取り組んできたことから、全国平均や類似団体平均を上回った状態で推移しています。しかしながら、将来的には改築、更新時期を迎える管渠の増加が見込まれます。

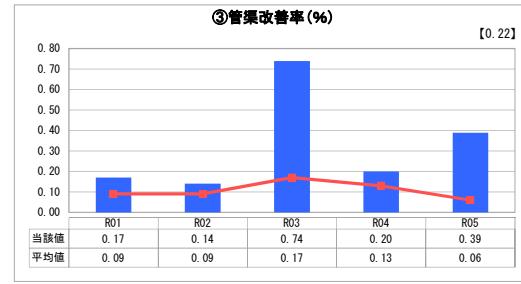
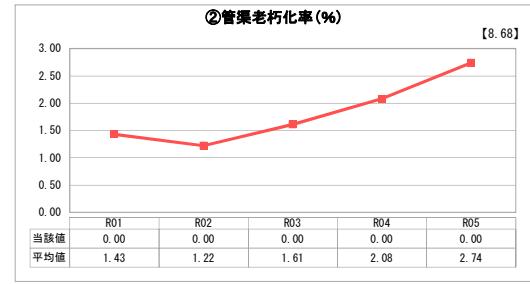
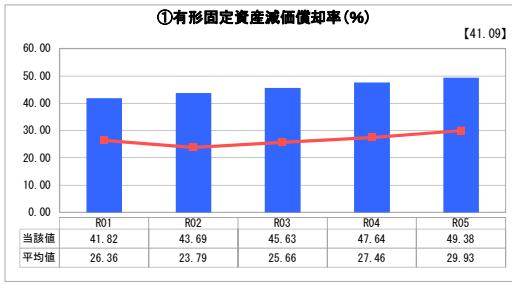
## 全体総括

人口減少等に伴い使用料収入は減少傾向となっていますが、適正な維持管理等に努め、健全経営を維持しています。今後、耐用年数を超える老朽化管渠の急激な増加が見込まれることから、管路の更新時期等を見極めながら、計画的に更新を行っております。また、下水道施設の耐震化や頻発する豪雨災害に対応するための雨水渠整備、諏訪湖流域下水道の終末処理場でも、老朽化施設の更新や長寿命化への経費負担の増加が見込まれることから、下水道事業全体の新規投資の標準化や効率化、経費節減などの取組により、安定した経営に努めています。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。